



The University of Shimane



島根県立大学マスコットキャラクター
オロリン

文部科学省 地(知)の拠点

平成28年度 地(知)の拠点整備事業

成果報告書

地域連携活動報告書

地域と大学の共育・共創・共生に向けた

縁結び プラットフォーム

概要版



公立大学法人
島根県立大学

Hamada Izumo Matsue

はじめに

島根県立大学の「地(知)の拠点整備事業」:「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」(COC事業)は平成28年度で4年目となり、5年間の事業実施期間も残り少なくなり、来年度は事業実施の最終年度に入ります。COC事業の2本柱は、①地域のニーズと大学の知的資源であるシーズをマッチングさせ、地域課題の解決に向けた共同研究を進めること、②地域の再生、活性化に貢献する地域人材を養成する教育改革を実行すること、です。

教育面では、既に、地域志向の教育である「フレッシュマン・フィールド・セミナー」等、地域をフィールドとする体験型学習を実施しています。本年度は、地域人材を養成する「しまね地域マイスター認定制度」の本格運用を開始しました。「認定制度」の基礎となる「しまね地域共生学入門」を、COC²-Netを活用した遠隔授業として、3キャンパス同時に開講することが出来ました。

研究面では、「9月連携会議」における地域ニーズと大学シーズのマッチングをより実質的なものとするため、これまで、全体会議方式、テーマ別分科会方式を試みてきましたが、今年度は、これらの取組を踏まえ、学会等で行われている「ポスターセッション」形式を採用し、参加いただきました地域の皆様との意見交換をより自由に、尚且つ、効果的に進め、多くのマッチングを実現して頂きました。また、「しまね地域共育・共創研究助成金」を活用した共同研究の成果は、「第4回全域フォーラム」の場で発表され、同時に、浜田市及び益田市と島根県立大学との共同研究の成果も発表されました。

島根県における地域の再生と活性化を推進する担い手となる人材の育成に向けて、「松江キャンパス」では、現場の専門職と大学教員が過疎地域の課題解決に向けて研鑽し合う専門職者向け履修証明プログラム「地域共生専門コース」を開設し、本格的に実施し始めました。「出雲キャンパス」では、「しまね看護交流センター」が中心となり、「地域とともに歩む看護・福祉の専門職」の育成に取り組んでいます。「浜田キャンパス」では総合政策学の学びと実践のもと、地域事情に精通し、地域を繋ぎコーディネートしながら課題解決に取り組む「実践力のある専門地域人材」の育成に努めています。

今後とも、「縁結びプラットフォーム」を基盤として地域課題を解決し、地域の再生・活性化に向けて、大学が関係する自治体や団体等の間を繋ぎ合わせる接着剤の役割を果たすことができればと願っています。

公立大学法人島根県立大学

理事長・学長 本 田 雄 一

1 はじめに

3 事業概要

3キャンパス共通の事業概要

4 事業の主な具体的取組

・島根県立大学 ・島根県立大学短期大学部

5 全域プラットフォームの実施状況

第4回全域フォーラム

3キャンパス年間スケジュール

7 各キャンパスの活動

7 浜田キャンパス

11 出雲キャンパス

15 松江キャンパス

19 しまね地域共育・共創研究助成金の研究成果

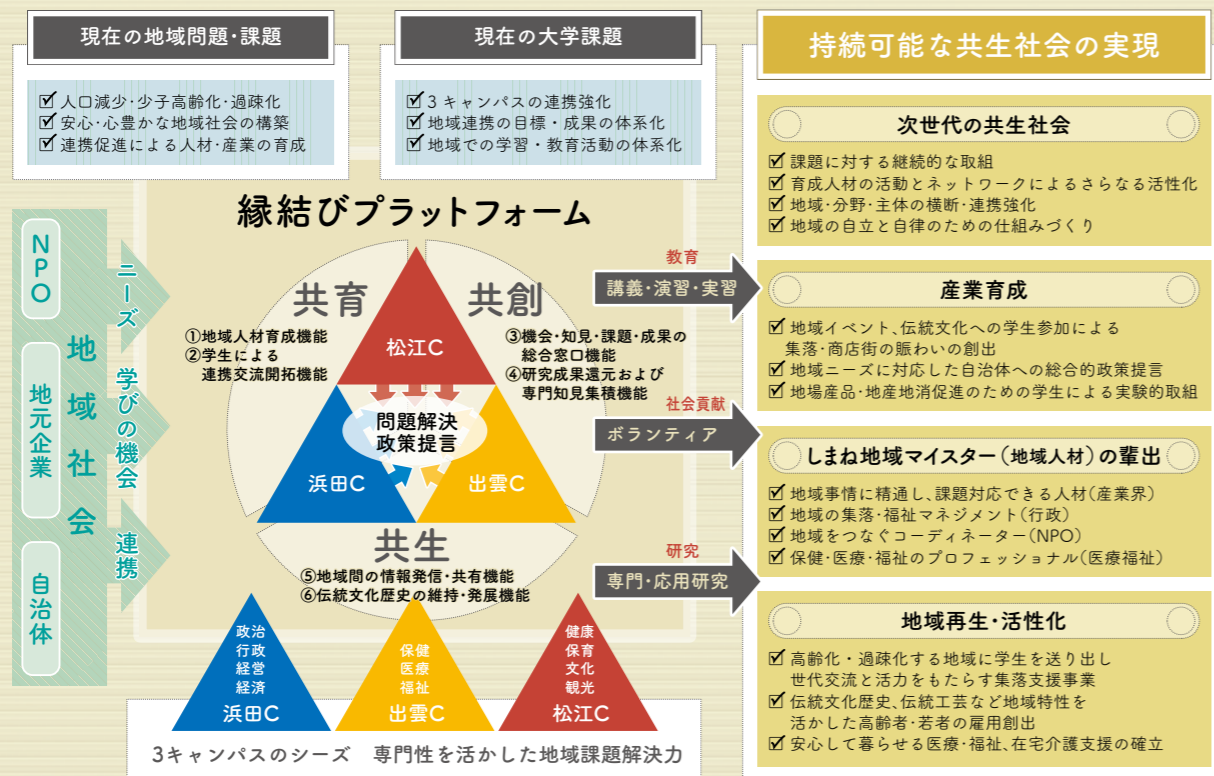
・しまね地域共創基盤研究費 ・地域活動経費

20 本事業の連携自治体・団体・機関

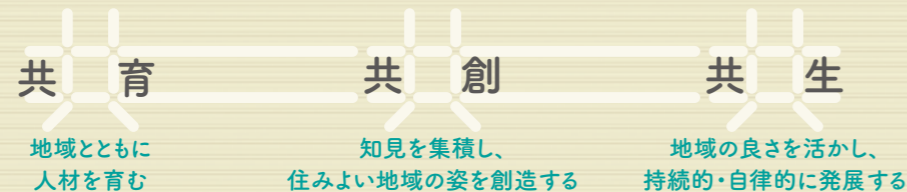
3キャンパス共通の 事業概要

公立大学法人島根県立大学は、総合政策学部（浜田市）、看護学部（出雲市）、短期大学部（松江市）の3キャンパスを有し、各キャンパスの専門分野を活かした地域貢献に取り組んでいます。本事業では、島根県の人口減少、少子高齢化、過疎化という地域共通問題へ対応するため、地域ニーズと大学シーズのマッチングを図る「縁結びプラットフォーム」という「場」を構築します。

地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム



『共育・共創・共生』とは



教育・研究・社会貢献活動での3キャンパスの連携事業を発展強化させ、全学の専門性と総合力を存分に活かした効果的な課題対応等を展開していきます。

地域課題に接近しつつ教育では、過疎先進地島根県で高い専門性と実践力を有する人材を育成するために「しまね地域マスター」認定制度（島根県立大学）、「履修証明プログラム」（島根県立大学短期大学部）を新設します。各学部で実施されてきた教育・研究・社会貢献活動を段階的に整理し、その目標・成果を全学で体系化するとともに、共通問題を多角的に研究し、市民や学生の地域活動を支援して、地域に開かれた大学として、地域社会へ貢献しています。

事業の主な具体的取組

島根県立大学

01 共育 教育

人材育成の目標：島根県における地域問題に対して様々な取組を通じて、

- 地域事情に精通し、
- 地域主体を繋げるコーディネート力のある人材を育成し、
- 熱意をもち課題解決に取り組める実践力を持った人材を育成する。

○「しまね地域マスター」認定制度の創設

本制度は、島根地域のあらゆる分野へ精通した学生を認定する、本学独自の制度です。卒業時には、自ら課題に対して向き合い、考え、課題解決に向けた行動力のある人材として、社会に飛び出すことができることを目標としています。

カリキュラムマップ

学年	1年	2年	3年	4年
演習科目				地域共生卒業研究
専門科目		選択専門科目		
基礎科目	しまね地域共生学入門	地域課題総合理解		

02 共創 研究等

本事業では、研究等について以下に掲げる内容を目標として取り組みます。

- 「縁結びプラットフォーム」を通じて、学内の教員同士、地域と大学との連携を強化する。
- 広域的、分野横断的な地域研究の実施を促進する。
- 域内での研究成果の共有化を図る。

○地域研究費の拡充

・「しまね地域共育・共創研究助成金」

03 共生 社会貢献

本事業では、島根県内に分散立地する各キャンパスを拠点とし、社会貢献の目標を以下のとおり掲げています。

- 生涯学習機能の拡充に取り組む。
- ボランティアの広域的対応に取り組む。

○生涯学習機能の拡充

・COC2-Netを活用した遠隔講義の実施を通じた市民の受講機会の拡大

島根県立大学短期大学部

01 共育 教育

学生に対する「地域志向」教育改善は、

- 「しまね地域共生学入門」と「地域志向」科目による地域課題への基礎教育構築。
- 「履修証明プログラム」の選択履修による問題意識の深化。
- 卒業研究における学域共同研究への一部参加による課題解決への展望。

○現場専門職者向け「履修証明プログラム」新設

現場専門職の社会人向けの、極めて実践的かつ具体的な個別的課題の解決に結びつく知見と技術の集積としてのプログラムです。少子高齢化集落の職務で必要な講習の履修、ならびに120時間コース履修による履修証明の交付（履修証明プログラム）をおこないます。

02 共創 研究等

○「しまね地域共生センター」における共同研究の推進

○「しまね地域共生センター紀要」の発行

03 共生 社会貢献

○社会人向け「履修証明プログラム」での人材育成

○生涯学習機能の拡充

○ボランティアの広域的対応

「履修証明プログラム」の開発

地域問題の理解深化
専門職者準備教育
3学科学生
卒業研究参加
大学と地域専門職者との学域共同研究推進
「しまね地域共生学入門」および地域志向科目履修
地域専門職者活動へのボランティア参加

履修証明プログラム
社会人向け講習群
職務に必要な講習を履修
120時間履修で履修証明交付
過疎の現場で活躍する学修
●高齢者の低栄養改善
●病児・障害児等の多様な保育対応
●地域文化振興から観光開発へ

センターをプラットフォームとする地域専門職者・学生・教員の連携活動促進

ともに支えあう地域の学びのプラットフォーム

全域プラットフォームの実施状況

年間スケジュール（平成29年度）

文部科学省 平成28年度「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」成果報告会
地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム

第4回 全域フォーラム

島根県立大学が平成25年度より取り組む「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」における、平成28年度の成果報告を発表する場として開催。今回も「しまね地域共育・共創研究報告会」に加えて、「学生研究発表会」「浜田市共同研究報告会」「益田市共同研究報告会」もあわせて開催しました。

日時 | 平成29年2月23日（木）

会場 | 島根県立大学 浜田キャンパス 講義・研究棟1階（大講義室1、中講義室3・4・5学生会館カフェテリア）

浜田市・益田市と島根県立大学の共同研究報告会

浜田市共同研究発表

浜田市の新しいお土産の形
田中恭子 准教授 浜田キャンパス

浜田市共同研究発表

温泉施設を起点とした観光振興に関する研究
久保田典男 准教授 浜田キャンパス

益田市共同研究発表

萩・石見空港を利用した着地型観光と広域観光ルートの提案
西藤真一 准教授 浜田キャンパス

浜田市共同研究発表

コミュニティワゴンのニーズ調査とその導入可能性
松田善臣 准教授 浜田キャンパス

浜田市共同研究発表

ヨシタケコーヒーを活かした観光と地域活性化「コーヒーの薫るまちづくり」のための調査研究
藤原真砂 教授/金野和弘 准教授 浜田キャンパス

益田市共同研究発表

保小中地域連携による「ふるさと基盤教育」の実証研究
山下由紀恵 教授 松江キャンパス

浜田市共同研究発表

浜田市内の団地における買い物環境の調査
バス事業者との共同利用促進活動の可能性も視野に入れて
西藤真一 准教授 浜田キャンパス

浜田市共同研究発表

中国・寧夏回族自治区石嘴山市との「観光交流」を目指す方策の検討
井上治 教授/福原裕二 教授 浜田キャンパス

浜田市共同研究発表

若者の投票率向上に関する研究
—島根県浜田市の事例を参照して—
光延忠彦 教授 浜田キャンパス



しまね地域共育・共創研究の成果報告会、学生研究発表会（浜田キャンパス）

しまね地域共育・共創研究の成果報告会

地域における起業家誘致・育成に関する調査研究
久保田典男 准教授 浜田キャンパス

しまね地域共育・共創研究の成果報告会

島根の地を活かした療養者向けヘルスツーリズムの開発
山下一也 教授(発表:石橋照子 教授) 出雲キャンパス

しまね地域共育・共創研究助成金を通じた産学官連携のご紹介

「しまね三味食品科学研究所」の取り組み
籠橋有紀子 准教授 松江キャンパス

しまね地域共育・共創研究の成果報告会

小さなブランド化の可能性調査：棚田米を事例にして
豊田知世 講師 浜田キャンパス

しまね地域共育・共創研究の成果報告会

ケーブルテレビを活用した健康情報サービスの取り組み
吉川洋子 教授 出雲キャンパス

学生研究発表会（浜田キャンパス）

学生による石見地方企業の情報発信
—ウェブサイト作成の試み—
林 秀司 教授 3年生ゼミ生 浜田キャンパス

しまね地域共育・共創研究の成果報告会

石見地方の物流ネットワークの構築と共同化による地域産品振興
—空荷トラックの活用、冷温冷蔵・冷温保冷施設の構築、共有および食のブランド化—
藤原真砂 教授 浜田キャンパス

しまね地域共育・共創研究の成果報告会

「古事記」「出雲国風土記」の英訳研究
松浦雄二 教授 松江キャンパス

学生研究発表会（浜田キャンパス）

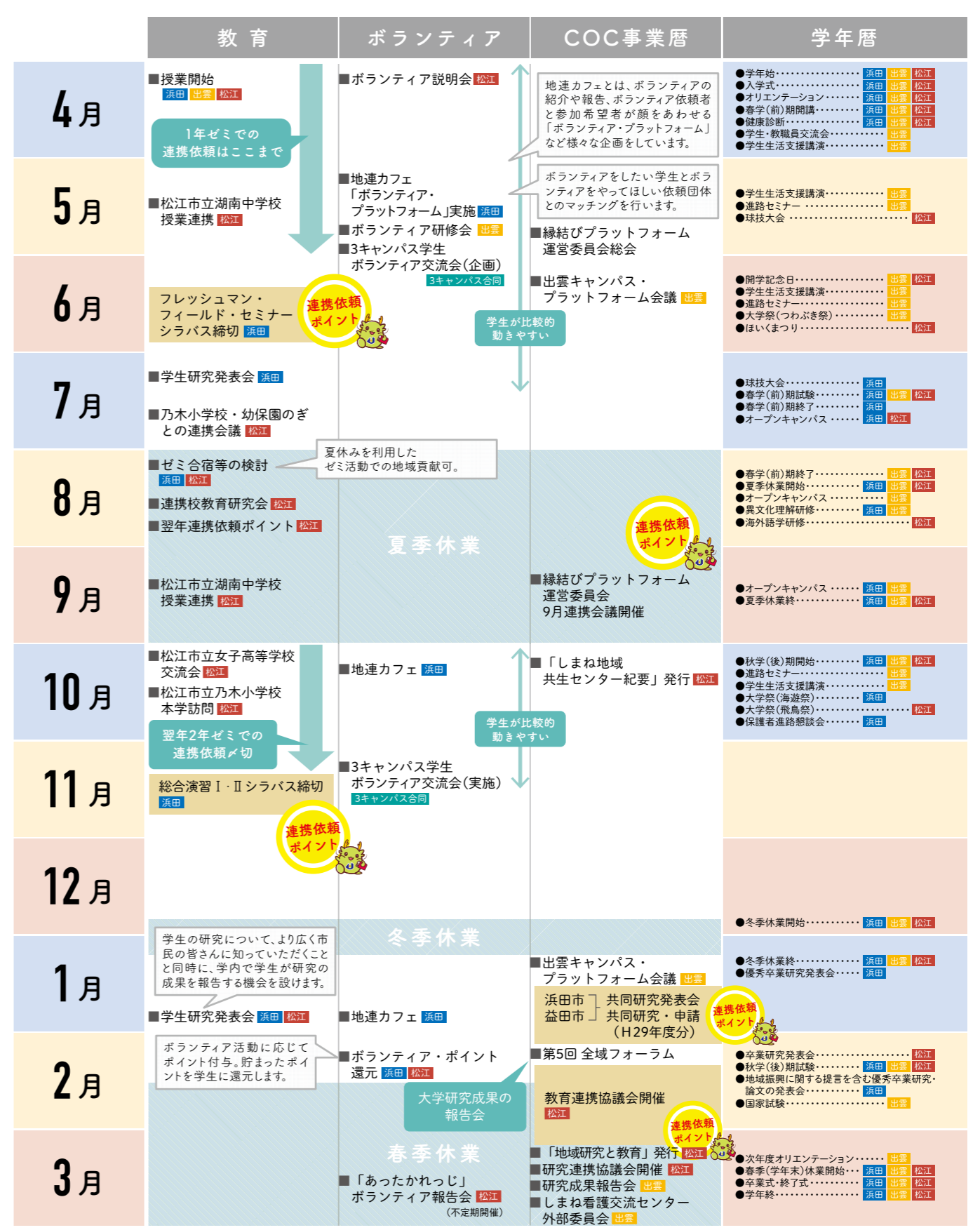
浜田市の水産物ブランド化の効果と課題
林 秀司 教授 3年生ゼミ生 浜田キャンパス

しまね地域共育・共創研究助成金を通じた産学官連携のご紹介

浜田市旭町の「坂本米」
豊田知世 講師/酒元誠治 教授 松江キャンパス

しまね地域共育・共創研究助成金を通じた産学官連携のご紹介

里山の自然と地域の歴史を伝えるウォーキングイベント
—体験交流プログラム造成の試み—
林 秀司 教授 3年生ゼミ生 浜田キャンパス



学生の地域活動

ボランティア活動

地域の皆様と学生の架け橋として、学生のボランティア活動への参加を積極的に支援しています。



春 御輿担ぎ



春 初まき



夏 蜜蜂飼育作業

地連カフェ

学生がより積極的にボランティアに参加できるよう、ボランティアに関する座談会・情報交流会・活動報告や、ボランティア依頼者の皆様との意見交換など、カフェ形式で開催しました。



第1回:地域で活動するサークル代表のトークセッション



第2回:ボランティア・プラットフォーム



第3回:ようこそ先輩

ボランティア・マイレージ事業

ボランティア活動回数に応じた表彰や、ボランティア・ポイント抽選会がおこなわれました。



ボランティア上位回数者表彰



ボランティア・ポイント抽選会

学生サークル等による地域貢献活動

個人単位ではなく、サークルや有志による各種の地域貢献活動もおこなわれました。



後野運動会



やんちゃプレイス



花サカス



放課後児童クラブ

地域に関する教育・研究活動

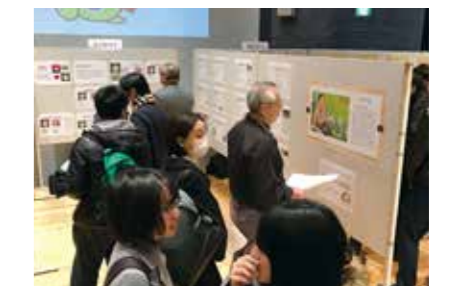
第14回地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文発表会

地域振興や地域活性化に関して、学生自らが得た知見を地域に還元する場として開催しました。奨励賞と最優秀賞に加えて、浜田市長賞の表彰もおこなわれました。



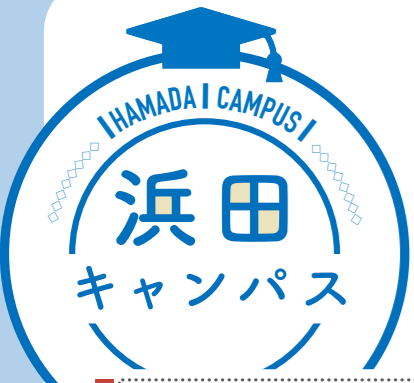
フレッシュマン・フィールド・セミナー

全ての初年次生が16ゼミに分かれて地域に出かけ、調査を通じて地域の課題を発見し、合同成果発表会において課題の解決策を提案しました。



平成28年度「フレッシュマン・フィールド・セミナー」一覧

クラス	フィールド	クラス	フィールド	クラス	フィールド
井上(厚)ゼミ	・吉賀町柿木村 ・JICA中国 ・カンボジア料理店「ミリア・アンコール」	田中ゼミ	・株式会社オーサン ・道の駅サンビコごうつ	福原ゼミ・佐藤ゼミ(合同ゼミ)	・広島平和記念資料館 ・駐広島大韓民国総領事館 ・出雲市役所国際交流室 ・在日本大韓国民団島根県地方本部 ・出雲市社会福祉センター日本語教室 ・NPO法人エスペランサ ・京都韓国中等学校関係者 ・浜田市近隣在住の在日コリアン
瓜生ゼミ	・有限会社しまねポーク	豊田ゼミ	・浦田木材株式会社 ・日本製紙株式会社ケミカル事業本部 ・江津事業所 ・合同会社しまね森林発電	藤原ゼミ	・浜田市
大橋ゼミ	・島根あさひ社会復帰促進センター ・グラントワ(島根県芸術文化センター)	林ゼミ	・阿郷建設有限会社 ・真砂産業株式会社 ・有限会社KKN(きんた農園ベリーネ)	光延ゼミ	・山陽新聞社 ・岡山市内 ・広島市内
川中ゼミ	・島根被害者サポートセンター ・江角弘道様、由利子様 ・市原千代子様	林田ゼミ	・浜田消防署 ・浜田市消防団	渡部ゼミ	・津和野町
久保田ゼミ	・株式会社若多屋	別枝ゼミ	・浜田市ふるさと寄附推進室 ・有限会社信港商店 ・有限会社しまねポーク ・有限会社なまけもの(珈琲焙煎)		
齋藤ゼミ	・浜田市健康長寿課 ・浜田市社会福祉協議会 ・浜田市内の高齢者サロン (「和泉サロン」、「松原笑み会」、「ほがらか会」)				



地域から／地域への 応援・情報発信

公開講座等の開催

地域に開かれた大学として、地域の方々の知的好奇心に応えるため今年度は30講座を開講しました。



学生研究発表会の開催

今年度は2回(7月・2月)開催され、計2ゼミ(各ゼミ3組・計6組)の学生が研究成果を地域の方々へ発表しました。



大学生による 小中学校学習支援事業の 取り組み

浜田市内小中学校の放課後の補習時間に学生を派遣して、教員と連携して個別学習指導をおこないました。



中学生の大学訪問の受け入れ

大学の雰囲気や大学生活を体験してもらい、将来の進路を考える為に学生が主体となってきっかけ作りのお手伝いをさせていただきました。



北東アジア地域研究センター 市民研究員制度

本制度をとおして、学外に蓄積された北東アジア地域に対する知識を、大学院教育に積極的に取り入れました。





CHAPTER 01

生涯学習の支援

教育・研究の成果を社会に発信・還元するために、生涯学習を広く展開しています。

公開講座の開催

従来の出雲キャンパスを拠点とする「出雲キャンパス公開講座」の他、平成27年度に出雲市駅北に開設した「出雲キャンパスサテライトキャンパス」を拠点に、健康づくり・文化等多彩なテーマで構成する「いずも健康市民大学」をはじめ、小学生を対象とした「論語教室」、生き方や生き方について考える「いきかたカフェ」を開講しました。

出雲キャンパス 公開講座

全8講座・計18回の講座を開講し、延べ565名の方が受講されました。



笑いヨガでみんないきいき



アロマで心と身体のリフレッシュPart.11

いずも健康市民大学

前期課程14回・後期課程12回の講座を開講し、延べ448名の方が受講されました。全課程の2/3以上参加された方には、いずも健康市民大学学長(出雲キャンパス副学長)から修了証が授与されました。



論語教室

私塾「尚風館」小倉雅介氏を講師に迎え、全11回開講し、11名の児童が参加しました。



いきかたカフェ

自分自身や大切な人のいのちについて考えました。



出前講座

地域・各種団体からの依頼に対し、教員が各地に赴いて42件の講座を行いました。



CHAPTER 02

学生の地域交流・地域貢献

学生が地域でのボランティア活動等に積極的に参加できるよう支援しています。

学生ボランティア研修会

「ボランティアとは何か」「学生がボランティア活動をする意義」について学ぶことを目的に、平成28年5月11日(水)に、研修会を開催しました。島根県立青少年の家「サンレイク」古澤俊司氏による講演「ボランティア活動の魅力」、学生によるボランティア活動の報告の他、地域の団体の方々によるボランティア紹介等が行われました。



学生ボランティア・マイレージ制度

出雲キャンパスでは、学生が取り組んだボランティア活動に対し、マイレージポイントを付与する「学生ボランティア・マイレージ制度」を実施しています。平成28年度は、ボランティア活動に関する報告が196件ありました。



熊本地震災害ボランティアに参加しました



3キャンパス合同でわさびの苗植えのボランティアをしました

学生サークル等による地域交流・地域貢献

出雲キャンパスでは、ボランティアに関するサークル活動も積極的に行っています。長期間、在宅で療養されている方の生活の場を月1回訪問し、患者さん、ご家族のQOLを高める活動をしている「在宅ボランティアサークル」が、その活動を認められ、平成28年度「県民いきいき活動奨励賞(ユース部門)」を受賞しました。



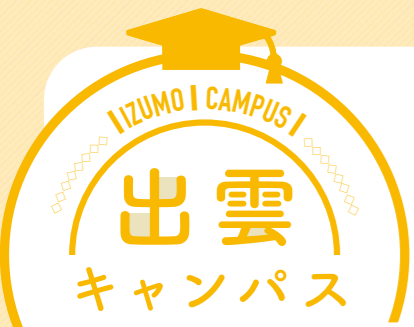
在宅ボランティアサークル



がんを考える学生の会「てんしんはん」



琴サークル



CHAPTER 03

教育機関との連携

小中学校体験学習

保健医療福祉に関する体験学習の依頼に応じています。平成28年度は、3校の体験学習を実施しました。



高齢者体験



車椅子体験

小中高校等出前講義

小中高校生のための保健医療福祉に関する講義の依頼に対し、教員が学校へ赴き講義を15回実施しました。



CHAPTER 04

産公学連携

出雲産業フェア2016への出展

平成28年11月5、6日に出雲ドームで開催された「出雲産業フェア2016」に出展しました。出雲キャンパスの教育活動や学生のキャンパスライフ、教員の研究成果の紹介等を行いました。多数の方がブースに来てくださり、フェアのイベント「あなたが選ぶNo.1ブース選挙」の「学校、行政・公的機関部門」において優秀賞を受賞しました。



松江工業高等専門学校との協定締結

平成29年3月15日、独立行政法人国立高等専門学校機構松江工業高等専門学校と包括的連携に関する協定を締結しました。



CHAPTER 05

広報・広聴活動

キャンパスモニター会議の開催

地域近隣の出雲キャンパスモニターの方々へ、キャンパスの運営や事業、地域貢献活動について説明し、理解を深めていただくと同時に、出された意見を本学の今後の活動に反映させることを目的に行っています。平成28年度は、2回の会議を開催しました。



第6回タウンミーティングの開催

平成28年9月10日、邑南町 田所公民館において、「医療を担う人づくりの未来～地域と大学の連携を考える～」をテーマに、「第6回 島根県立大学出雲キャンパス タウンミーティングin邑南町」を開催し、約90名の参加がありました。邑南町における教育機関との連携や、出雲キャンパスの学生・教員による大学での教育に関する話題提供の後、参加者それぞれの立場から、地域医療を担う人材育成や地域と大学の連携のあり方について意見交換が行われました。



キャンパスツアー

ツアーを通してキャンパスの広報活動を行うとともに、シニア・ジュニアの健康学習の場として活用していただいています。平成28年度は、出雲市内の小学校から依頼があり、小学2年生の児童と引率の先生に、出雲キャンパスの施設を案内した他、出雲キャンパスの概要や看護師の仕事について紹介しました。





CHAPTER 01

地域に関する教育・研究活動

研究連携協議会

しまね地域共育・共創助成金採択研究をはじめとして、さまざまな学内研究費を獲得して実施された地域志向研究を発表しました。



CHAPTER 02

「社会人の学び」体制構築・公開講座・講演会の開催

履修証明プログラム

「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」を目指すことを掲げた大学憲章に合わせ、「健康・保育・文化・観光」の専門分野を活かした共同研究を推進しています。平成28年度はその成果を活かした社会人向け「履修証明プログラム」を開講しました。



「社会人の学び」開講中です！ 履修証明プログラム	
履修認定科目 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学	履修認定科目 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学
履修認定科目 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学	履修認定科目 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学
履修認定科目 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学	履修認定科目 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学 健康・福祉・地域共生学

公開講座の開催

平成28年度は延べ1,622名の方が受講されました。また、一部を履修証明プログラム連携講座として開講しました。



CHAPTER 03

地域活性化支援

食育の情報発信に関する研究

健康栄養学科の学生による「島短食レポ隊」が県内各地を取材し、「おいしい・たのしい・ためになる」食育体験を教員と学生が2年間にわたり島根県内10か所以上を巡り、情報発信しました。



食育ボードゲームの開発

食と健康に興味・関心を持つ子が増えるようにと、学生が願いと学びを込めて「食育ボードゲーム」(すごろく)を制作しました。家庭用・学校用と2種類制作し、対象や用途に応じて使い分けできるようにしました。実際に学校や家庭、イベントで子どもたちや家族で遊んでもらいながら効果を検証しています。



(株)ローソンとの産学官連携によるスイーツ&ベーカリー商品化

「卒業研究」の一環として籠橋有紀子准教授および籠橋研究室ゼミ生がコンビニエンスストアでの販売を前提として島根の農産物を使ってスイーツとベーカリーを考案しました。ぜんざい風デニッシュパン(島根県産米粉を使用)&豆乳ホイップエクレア(島根県産いちじくを使用)が平成28年10月に中四国全域のローソンで発売されました。



「キッズ・イングリッシュ」の英語絵本読み聞かせ活動

平成28年度の「キッズ・イングリッシュ」(担当は小玉容子教授、ダスティン・キッド講師、総合文化学科2年前期)受講生5名は、おはなしレストランライブラリーで「英語絵本の読み聞かせ」を行いました。学生の実践力向上にとって貴重な体験となりました。



松江興雲閣訪問客の実態調査

「観光まちづくり学」(総合文化学科2年後期選択科目、担当は工藤泰子准教授・竹田茉莉非常勤講師)の履修生20名と有志学生1名(計21名)は、NPO松江ツーリズム研究会の協力のもと、松江城山興雲閣にて訪問客にヒアリング調査を実施しました。



連携協定

島根県における文化芸術・教育の発展に寄与することを目的に、公益財団法人しまね文化振興財団(島根県民会館)と連携協定を締結しました。また、公益財団法人しまね産業振興財団、一般社団法人島根県発明協会との三者で、産業振興に関する包括的連携協力協定を締結しました。その他、教育・研究・広報等の分野における相互協力を目的に、小泉八雲記念館との連携協定を締結しました。





CHAPTER 04

教育機関との連携

島根大学教育学部 附属小学校との連携

籠橋有紀子准教授は小泉八雲が残した文献をもとに、しまね三味ジビエガンボスープを作成し、まつえ農水商工連携推進協議会および島根大学教育学部附属小学校との連携により、学校給食への展開を行いました。



保育学科の教育機関連携

「第43回ほいくまつり」は、平成28年6月25日(土)に出雲市民会館で開催され、多くの親子が学生の作りだした歌唱・司会・影絵・劇などの「児童文化」を楽しみ学生と交流しました。



CHAPTER 05

学生による地域貢献活動

ボランティアサークルvolcanoの活動

平成28年度のボランティアサークルvolcano(ぼるけーの)は、“人の想いや心に寄り添う”をテーマに、北野りんご園の作業と、浜乃木七丁目国尾自治会との連携活動を中心に行いました。ボランティア報告会「あったかれっじ」は二度実施し、6月には、東日本大震災および熊本大震災の復興活動に参加した学生らの報告、飛鳥祭には、国尾自治会の皆様を招き、volcanoの活動について報告を行いました。



キラキラドリームプロジェクト

キラキラドリームプロジェクトは、学生が企画する独創的なプロジェクトに対して、大学が費用を補助し学生の夢の実現を応援しています。平成28年度は2組の団体が公開審査会でプレゼンテーションをおこない、全事業が採択されました。



平成28年度採択プロジェクト(2団体)

ドリーム枠(採択額22.5万円)

TYDスクール「Learning from war～戦争について知ろう～」 ～他国の人と交流しながら戦争について語り合おう～

この企画の目的は、自分の国ではない他国から見た戦争観について様々な国の人に知ってもらうことです。内容は外国の方と戦争について話し合うというものです。



ドリーム枠(採択額22.5万円)

MPV制作委員会「プロジェクトD」 ～松江のPVは意外と少ない?なら作っちゃえ!!～

松江をアピールする映像(MPV)。企画、構成から撮影、編集まで全てを短大生が実行?! 私たちにしかできないPVを作り、松江をもっとよくなりたい! 松江市の観光に貢献します。



CHAPTER 06

おはなしレストランライブラリーの 地域連携活動

出前シェフ

地域の要望に応じて行なう「出前シェフ」の活動では、小泉八雲記念館との初の共同企画として、八雲記念館において怪談絵本の読み聞かせを行いました。八雲の代表作『雪女』をはじめとして、八雲にちなんだクイズなども取り入れながら、観光客の方々と怪談絵本を満喫しました。



おはなしレストランライブラリー

絵本と音楽を融合した催し「音のレストラン」(本学保育学科梶間講師)、わらべうたを中心とした取組み「ゆりかご」(本学非常勤岡本・岩田講師)の時間などを開催し、親子で楽しむ機会が増えました。



しまね地域共育・共創研究助成金の研究成果

助成の対象となる活動は、地域を志向した教育・研究・社会貢献を行うために、島根県が直面する地域課題への対応に資する活動を行うものであって、当該年度に支出するもので、平成28年度は次のとおりでした。

1 しまね地域共創基盤研究費

常勤教員等または常勤教員等を代表とする3名以上からなる研究グループの行う調査研究活動

2 地域活動経費

次のア～ウまでに掲げるキャンパスの区分に応じ、当該ア～ウまでに定めるもの

- ア) 浜田キャンパス 総合演習及び地域共生演習にかかる活動
- イ) 出雲キャンパス 「地域」または「地域での実習」に関する科目にかかる活動
- ウ) 松江キャンパス 地域志向内容を含む科目
(卒業研究・卒業プロジェクトを含む) にかかる活動

研究テーマ	代表申請者
石見地方の物流ネットワークの構築と共同化による地域産品振興 —空荷トラックの活用、冷温冷凍・冷温保冷施設の構築、共有および食のブランド化—	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 教授 藤原 真砂◎
地域における起業家誘致・育成に関する調査研究	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 准教授 久保田典男
小さなブランド化の可能性調査：棚田米を事例にして	浜田キャンパス 総合政策学部 総合政策学科 講師 豊田 知世◎
島根の地を活かした療養者向けヘルスツーリズムの開発	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 教授 山下 一也◎
ケーブルテレビを活用した健康情報サービスの取り組み	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 教授 吉川 洋子◎
「食の歳時記 ～健康を支える地域特有の食文化の伝承～」	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 准教授 松本玄智江
地域在住高齢者の死生観と終末期療養ニーズ	出雲キャンパス 看護学部 看護学科 講師 加藤 真紀◎
島根の民話資料の保存と整理 —ふるさと郷育(教育)への活用に向けて—	松江キャンパス 総合文化学科 教授 岩田 英作◎
『出雲国風土記』の英訳研究	松江キャンパス 総合文化学科 教授 松浦 雄二◎

研究グループでの申請の場合は◎

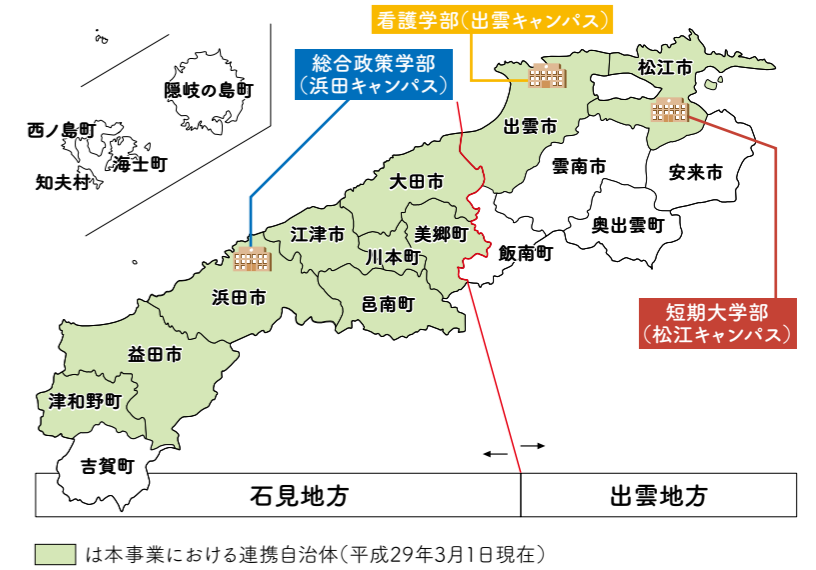
本事業の連携自治体・団体・機関

自治体

- 島根県 ○松江市 ○浜田市 ○出雲市
- 益田市 ○大田市 ○江津市 ○川本町
- 美郷町 ○邑南町 ○津和野町

団体・機関

- 公益財団法人しまね産業振興財団
- 公益財団法人ふるさと島根定住財団
- 公益社団法人島根県栄養士会
- 公益社団法人島根県看護協会
- 島根県商工会連合会
- 島根県保育協議会
- NPO法人てごねっと石見
- NPO法人松江ツーリズム研究会
- 株式会社今井書店
- 日本海信用金庫



浜田キャンパス (地域連携推進センター)

HAMADA CAMPUS

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2 TEL:0855-24-2396 FAX:0855-23-7352
E-mail:h-chiren@u-shimane.ac.jp

出雲キャンパス (しまね看護交流センター)

IZUMO CAMPUS

〒693-8550 島根県出雲市西林木町151 TEL:0853-20-0220 FAX:0853-20-0227
E-mail:kango@u-shimane.ac.jp

松江キャンパス (しまね地域共生センター)

MATSUE CAMPUS

〒690-0044 島根県松江市浜乃木7-24-2 TEL:0852-28-8322 FAX:0852-20-0267
E-mail:m-kyousei-c@u-shimane.ac.jp



【編集・発行】

島根県立大学地域連携推進センター

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2
TEL:0855-24-2396 FAX:0855-23-7352
E-mail:h-chiren@u-shimane.ac.jp